



＜安心・子育てできるまちめぐろへ！！＞

民間組織が、30年後に若年女性人口が半減する自治体を公表。そこで以下、質問する。(1)若年女性のニーズ調査を行い、結果を施策に展開すべきと考えるが見解を伺う。(2)ネウボラ※を参考に、妊娠前から就学前まで一貫した切れ目のない子育て支援の充実を図るべきと考えるが見解を伺う。(3)男性がもっと子育てにかかわれるよう知識の普及・啓発を図るべきと考えるが見解を伺う。

区長 (1)少子化社会の問題は、結婚や妊娠、出産など個人の考え方や価値観にかかわる問題でもあり、ニーズ調査を行うには様々な課題があるので、調査研究を行う。(2)母子健康手帳交付から、新生児訪問、就学前までの6回の乳幼児健診と、きめ細かい支援を実施している。今後も切れ目のない支援強化に取り組む。(3)「パパの育児教室」等の拡充検討とともに、乳幼児健診など様々な機会をとらえて男性の主体的な育児参画を促していく。

＜危険ドラッグ対策＞
危険ドラッグの根絶に向けた早急な対策

が必要と考え以下、質問する。(1)危険ドラッグを「持たず、作らず、持ち込ませず」の対策強化を図るべきと考えるが見解を伺う。(2)若者の薬物乱用を防ぐため、薬物教育の強化など、未然防止策を図るべきと考えるが見解を伺う。(3)依存症の本人や家族が相談しやすい体制整備を図るべきと考えるが見解を伺う。

区長 (1)国・東京都の規制強化策と連動し、危険性を訴えていく。地元警察署や区民団体とも連携を図り、地域一体となって撲滅に向けた機運を高めていく。(2)各学校での薬物乱用防止教室の推進、保護者への啓発、生徒自身の標語やポスター作成を通じて、教育委員会と連携した啓発強化に取り組む。(3)保健師が本人・家族の相談に随時対応し、内容に応じて専門相談、専門医療機関等へつなげている。迅速かつ的確な対応で、患者及び家族に対する支援を強化していく。

【用語解説】
※ネウボラ(neurola):フィンランド語で「アドバンス(neuvo)する場所」という意味で、妊娠から出産・育児を一貫して就学前まで一人の保健師が継続的にサポートする制度。



「手話言語法(仮称)」の早期制定に関する意見書

手話は、聴覚障害者がコミュニケーションを取り、物事を考える際に使用され、手指の動きや表情などを使って概念や意思を視覚的に表現するもので、日本語と同様に独自の語彙や文法体系を持つ言語である。

平成18年12月に国際連合総会において採択された「障害者の権利に関する条約」では、第2条の定義において、言語は「音声言語および手話その他の形態の非音声言語」とされており、我が国も平成26年1月に同条約を批准したところである。

また、平成23年8月に成立した改正障害者基本法第3条3では、「全て障害者は可能な限り、言語(手話を含む。)その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と規定し、手話が言語に含まれることを明記している。

こうした中、手話が音声言語と対等な言語であることを広く周知し、国民の理解を促進するとともに、聴覚障害者が、家庭、学校、地域社会、その他のあらゆる場において、手話を使用して自由なコミュニケーションを享受できるように社会環境を整備することが求められている。

以上をふまえて、目黒区議会は、言語(手話を含む。)その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保されるべきと考え、他の伝達手段が尊重されることを前提とし、まずは手話に関する包括的な法律として「手話言語法(仮称)」を早期に制定するよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年9月30日

目黒区議会議長 いその 弘 三

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣 あて



＜区立小中学校のあり方＞

(1)区立中学校に進学するのは区立小学校在籍者の約半数である。区立中学校が半数から拒否されている現状を改善し、少子化による統合に備えて、品川区や京都市が設立した小中一貫教育校を導入せよ。(2)いじめ対策は一步踏み込んだ指導が必要である。いじめは、深刻化、陰湿化、集団化、長期化している。いじめと犯罪を峻別して対処するとともに、いじめた側への表面的、他罰的指導に止まらず、自立した子どもを育てる観点からも、いじめられた側を励まし力づける教育的支援を強化せよ。(3)自信や自己肯定感を高める民泊等の生活宿泊体験旅行を積極的に活用せよ。

教育長 (1)区立中学校への進学率低下は課題として受け止めている。各中学校区で、9年間を通した連続性のある指導、児童・生徒の交流、教員の相互理解などを進めている。「小・中一貫教育」については、今後、国の動向等を踏まえ、調査・研究を行う。(2)いじめられた児童・生徒の傷ついた思いを受け止め、十分心のケアを行い、人間関係の構築に意欲を持たせることなどが重要と考える。子どもたちが様々な経験を重ね、自信を持ち、豊かな人間関係を築くことができるように、いじめの根絶に向けて一丸となって取り組んでいく。(3)現在の自然宿泊体験教

室における体験学習を一層充実させるとともに、農家などに宿泊する取組について調査研究に努めていく。

＜平成28年から導入される、新しい学力と呼ばれる、複雑で解決の見えない問題の解決力を育て教育＞
結果の記憶力から問題解決力への転換を先取りして、全教科で早期に導入せよ。

教育長 現在も、疑問を投げかけたり、具体的な題材をベースにした授業に取り組んでいる。新しい教育モデルの準備につなげるためにも、現在の教育活動をより一層工夫、改善していく。

＜情報教育＞
スマートフォンやSNS※の誤用により子供たちの精神と将来が触まれている。利用技術だけでなく、本質的な対策をとり、あらゆるSNSから子どもたちの将来を守る取組みをせよ。

教育長 「目黒区児童・生徒の携帯電話等の使用に関する指針」を定め、携帯電話等を介した様々なトラブルの未然防止に取り組んでいる。今後も、学校と家庭の連携をさらに深め、SNSの危険性から子どもたちを守っていく。

【用語解説】
※SNS: Social Networking Siteの略。人と人とのつながりを促進・サポートするコミュニティ型のWeb(ウェブ)サイト。mixi(ミクシィ)、Twitter(ツイッター)、Facebook(フェイスブック)などが知られている。

地方財源の拡充に関する意見書

住民福祉の増進等に責任を負う地方自治体においては、地方がその責任と権限に応じた役割を果たせるよう、地方税財源の拡充を図る必要がある。

しかし、国は、平成26年度税制改正において、地方法人税・地方法人特別譲与税を廃止しないだけでなく、地方の貴重な自主財源である法人住民税の国税化を新たに導入し、消費税率の10パーセントへの引き上げ時には、法人住民税の国税化をさらに進めるとした。こうした措置は、地方税財源の拡充にはつながらず、地方の自立そのものを妨げ、地方分権の流れに逆行するものである。併せて、来年度からは法人実効税率の引き下げが予定されており、地方税財源への影響が強く懸念されている。

目黒区には、住民の暮らしや区内業者を支えるため、急激に押し寄せている高齢化への対応や保育所持機児童の解消、公共施設の老朽化に伴う大規模改修など施設の維持・更新や大都市特有の防災力など、財政需要が存在しており、税収の多さのみで財政が十分に足りているということは決してない。

地方自治体が責任を持って充実した住民サービスを提供して行くためには、需要に見合う財源の確保が不可欠であり、地方財政が抱える巨額の財源不足という問題は、限られた地方税財源の中での財源調整では根本的な解決を図ることはできない。

よって、目黒区議会は、国会及び政府に対し、本来、地方に還元されるべき税については、国の責任において確実な代替財源を確保するなど、全ての地方自治体の歳入に影響を及ぼさないよう万全の対応を行うとともに、地方税の根本原則をゆがめる地方法人特別税・地方法人特別譲与税と法人住民税の国税化を直ちに撤廃して地方税として復元し、地方が担う権限と責任に見合う地方税財源の拡充という本質的な問題に取り組むよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年9月30日

目黒区議会議長 いその 弘 三

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣 あて

最近の委員会の主な議題(平成26年7月～9月)

- 常任委員会**
- 企画総務委員会 7月9日(水曜日)**
- ・平成26年6月29日の大雨による被害と区への対応
 - ・契約報告(9件)
 - ・目黒区登録業者の指名停止措置
- 8月5日(水曜日)**
- ・第44回目黒区世論調査単純集計結果
 - ・訴訟事件の報告
 - ・事故の発生
 - ・契約報告(12件)
- 9月10日(水曜日)**
- ・議案審査
 - ・新たな歳入確保策(広告付区政情報モニター・番号表示システムの一体的導入)の実施
 - ・区長の気仙沼市訪問
 - ・平成26年度都区財政調整当初算定結果
 - ・平成26年度「区民と区長のまちづくり懇談会」の開催
 - ・平成26年度区政功労者表彰式の概要
 - ・事故処理結果
 - ・職員のパフォーマンス向上
 - ・契約報告
 - ・土地売買契約(2件)
 - ・目黒区業務継続計画<新型インフルエンザ等編>(案)
- 9月11日(木曜日)**
- ・陳情審査
- 9月12日(金曜日)**
- ・議案審査

- 生活福祉委員会 7月9日(水曜日)**
- ・平成25年度目黒区立住区会議室指定管理者運営評価結果
 - ・平成25年度目黒区区民高層指定管理者運営評価結果
 - ・平成25年度目黒区中小企業センター及び勤労福祉会館指定管理者運営評価結果
 - ・平成26年度めぐろアートウィークの実施及び平成25年度事業実績
 - ・平成25年度目黒区文化ホール及び目黒区美術館指定管理者運営評価結果
 - ・平成25年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団の決算報告
 - ・平成25年度目黒区立体育施設指定管理者運営評価結果
 - ・「健康めぐろ21」改定に向けた区民意識調査の実施
 - ・平成25年度目黒区立高齢福祉施設指定管理者運営評価結果
 - ・平成25年度目黒区立障害福祉施設指定管理者運営評価結果
- 8月26日(火曜日)**
- ・平成26年第1回東京都後期高齢者医療広域連合議会臨時会における議決結果等
 - ・目黒区観光ビジョン改定にかかる目黒区観光振興懇話会の提言「中間のまとめ」
 - ・芸術文化に関する区民意識調査の実施
 - ・「目黒区スポーツ推進計画」策定の考え方
 - ・駒場プールの臨時休場
 - ・目黒区保健医療福祉計画、介護保険事業計画及び障害者計画改定にかかる目黒区地域福祉審議会の答申「中間のまとめ」
 - ・平成26年度敬老のつどいの開催
 - ・放課後等デイサービス新規開設事業者選定結果
- 9月10日(水曜日)**
- ・議案審査
 - ・平成26年第2回臨海部広域畜産組合議会定例会
 - ・年金特別徴収による税込納額の誤還付

- 文教・子ども委員会 7月9日(水曜日)**
- ・アレルギー食物摂取事故
 - ・区立学校における個人情報の紛失
 - ・東京都特別支援教室モデル事業の進捗状況
 - ・平成25年度放課後フリークラブの実施結果
 - ・目黒区立八ヶ岳林間学園の臨時休園
 - ・目黒区古民家臨時休館のとりやめ
 - ・守屋図書館設備工事に伴う臨時休館
 - ・子ども・子育て支援新制度の概要
 - ・平成27年4月に向けた待機児童対策

- 8月4日(月曜日)**
- 【視察：第三中学校、げっこうはらこども園、原町小学校(特別支援教室)、蓮美幼児学園西小山ナーサリー】
- ・子どもの進路(中学校)に関する意識調査の実施について(案)
 - ・平成27年度隣接学校希望入学制度の実施
 - ・目黒区立大鳥中学校電子黒板選定の結果
 - ・生徒の熱中症
 - ・子ども・子育て支援新制度に係る新規条例の骨子
 - ・子ども・子育て支援新制度等に伴う区立幼稚園及び区立こども園の条例改正の概要
 - ・目黒区子ども総合計画改定に対する答申の取り扱い
 - ・文部科学省主催の日韓高校生交流事業における目黒区立児童館訪問
 - ・家庭福祉員が受託した児童の死亡事故を踏まえた家庭福祉員制度の見直し
 - ・賃貸物件による認可保育所整備に係る補助制度の拡充
 - ・賃貸物件による認可保育所開設事業者公募の選定結果
 - ・小規模保育事業の運営事業者の募集
- 9月5日(金曜日)**
- ・議事日程及び進行順序について
 - ・委員会の開催予定について
 - ・意見書(案)について
 - ・陳情取り下げについて
 - ・諮問(人権擁護委員候補者の推薦)について
 - ・決算特別委員会の正副委員長の候補者について
 - ・平成27年度行財政運営基本方針について
 - ・平成27年度当初予算編成日程について
 - ・緊急財政対策により3年間休止とした事業について
 - ・政務活動費に係る日程について

- 9月10日(水曜日)**
- ・議案審査
 - ・通学路における防犯カメラの設置の考え方
 - ・区立学校の耐震化状況等の公表
 - ・平成27年度使用目黒区立小学校教科用図書採択結果
 - ・平成26年度目黒区学力調査実施結果の概要
 - ・平成26年度目黒区学力調査意識調査の概要
 - ・平成26年度全国学力・学習状況調査結果
 - ・目黒区立第三、第四中学校夏休みE(イングリッシュ)キャンプ実施報告
 - ・興津自然学園における野生猿の出現
 - ・目黒区指定文化財の指定(宗教学院天祐天寺の梵鐘)
 - ・目黒区古民家の臨時休館
 - ・目黒区立図書館の年末臨時開館及び蔵書点検に伴う臨時休館
 - ・目黒区立図書館の夏季臨時開館の実施結果
- 9月11日(木曜日)**
- ・目黒区子ども総合計画(平成27年度から平成31年度)の概要
 - ・子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」と「確保内容」
 - ・母子生活支援施設指定管理者運営評価結果
 - ・保育所指定管理者運営評価結果
 - ・賃貸物件による認可保育所の開設場所等の変更
 - ・賃貸物件による認可保育所開設事業者公募の選定結果
 - ・国有財産の取得等要望の取扱い

- 議会運営委員会**
- 7月18日(金曜日)**
- ・平成25年度後期分(10月～26年3月)政務活動費収支報告書に係る議長の調査結果について
- 8月22日(金曜日)**
- ・平成26年第3回定例会の招集について
 - ・提出予定議案について
 - ・会期及び会期中の日程について
 - ・議会運営委員会に提案する意見書等について
 - ・一般質問の通告期限について
 - ・請願・陳情について
 - ・決算特別委員会の設置及び正副委員長の選出について
 - ・本会議における討論通告書の提出期限について
 - ・条例改正の直接請求に係る経過について

- 特別委員会**
- 区有施設・生活圏域整備計画調査特別委員会 7月11日(金曜日)**
- ・目黒区区有施設整備アドバイザーの設置
- 8月8日(金曜日)**
- ・区有施設の長寿命化のルールづくりに向けた取り組み
- 8月25日(月曜日)**
- 【視察：第一中学校、清掃事務所、公園倉庫(旧公園事務所)、中央体育館、第九中学校】
- 9月16日(火曜日)**
- 【視察：上目黒保育園・鳥森学童保育クラブ、五本木小学校(中央地区プール)、田道老人いこいの家】
- 決算特別委員会 9月9日(火曜日)**
- ・正副委員長の互選
- 9月17日(水曜日)から9月25日(木曜日)(土日祝日を除く)**
- ・議案審査